

0歳児ニーズ量の補正方法

資料2「作業の手引き」から算出したニーズ量の1枚目にある「3号認定0歳児」を例にすると以下のとおり補正を行います。

H27年度	3号認定 1・2歳児 ニーズ量 (A)	Aに対する申 請割合 (B)	3号認定 (0歳児)		差引 (D-C)	量の見込み 3号 (A+C) ニーズ量
			ニーズ量 (補正後) A×B (C)	ニーズ量 (補正前) (D)		
単位	人		人	人	人	人
本庁管内	752	31%	233	425	192	985
霞ヶ関地区	215	31%	67	114	47	282
霞ヶ関北地区	39	31%	12	21	9	51
福原地区	120	31%	37	37	0	157
大東地区	143	31%	44	88	44	187
高階地区	164	31%	51	142	91	215
川鶴地区	15	31%	0	0	0	15
名細地区	231	31%	72	85	13	303
山田地区	83	31%	26	61	35	109
芳野地区	15	31%	5	11	6	20
古谷地区	19	31%	6	25	19	25
南古谷地区	206	31%	64	79	15	270
合計	2,002		617	1088	471	2,619

同様な手法で、平成28年度から31年度まで以下のとおり補正します。

	3号認定 1・2歳児 ニーズ量 (A)	Aに対する申 請割合 (B)	3号認定 (0歳児)		差引 (D-C)	量の見込み 3号 (A+C) ニーズ量
			ニーズ量 (補正後) A×B (C)	ニーズ量 (補正前) (D)		
各年度合計	人		人	人	人	人
平成28年度	1,903	31%	586	1056	470	2,489
平成29年度	1,858	31%	572	1015	443	2,430
平成30年度	1,795	31%	553	983	430	2,348
平成31年度	1,728	31%	531	949	418	2,259

※補正後のニーズ量合計については、各地区のニーズ量を小数点以下四捨五入したものを合計したものです。